



令和3年度

FD 活動報告書



岡崎女子大学
岡崎女子短期大学

令和3年度 FD活動報告書

		ページ
1. はじめに		
1-1	巻頭言	2
2. FD委員会関係		3
2-1	FD委員会実施一覧	4
3. 授業アンケート関係		6
3-1	「学生による授業アンケート」の実施について	7
3-2	授業アンケート質問項目	9
3-3	授業アンケート実施結果	11
3-4	授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について	15
3-5	授業に関する自己点検報告書	17
4. FD研修会関係		18
4-1	FD研修会(第1回)について	19
4-2	FD研修会(第2回)について	21
4-3	FD研修会(第3回)について	22
5. 授業参観関係		23
5-1	授業参観の実施について	24
5-2	授業参観コメント用紙	25
5-3	「授業参観」実施結果	26
6. ルーブリック関係		27
6-1	ルーブリックの実施について	28
7. おわりに		
7-1	令和3年度FD活動の総括	30

巻 頭 言

令和3年度 FD 委員長 小宮富子

本資料「令和3年度 FD 活動報告書」は令和3年度の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 FD 委員会が中心となって行った FD 活動の概要と成果を学内に報告することを目的としてまとめたものです。

令和3年度 FD 委員会の特徴としては、組織の仕組みが令和2年度委員会と変化したことが挙げられます。新たに大学と短期大学各学科に FD チームが置かれることとなり、その3チームを代表する教員3名で FD 委員会が構成されました。委員会は年間8回の開催でしたが、学科に持ち帰ってチーム毎に議論した回数を含めると全体的な会議量はかなりのものになりました。新たにチーム間の意見調整が必要となり、手続きが複雑化した感もありましたが、委員会運営においては幼児教育学科チームの協力が非常に大きかったことにも触れておきたいと思います。

活動内容としては、令和2年度と同様に、①授業アンケート②FD 研修会③授業参観④ループリック評価の4つが中心となりましたが、特に前期においては①の授業アンケート項目の全体的な見直しと報告書様式の改訂作業に注力することとなりました。

本報告書では、FD 活動の内容と方法その結果の概要を示すものとして、委員会活動については委員会の実施状況と主な議題、①「学生による授業アンケート」については教員への依頼事項、質問項目、集計結果、自己点検報告書の様式を掲載しています。また②FD 研修会については実施概要を示す実施案内文、③授業参観については教員への実施依頼文書と授業参観コメントの書式、実施結果などを掲載し、④ループリック評価については評価表の提出者一覧を記載しました。

全体を振り返りますと、本学教職員の FD 活動への協力姿勢や参加意欲が高く、学生による授業アンケート結果の数値も高いことがわかります。また、SD 委員会との連携による教職協働体制が形成されていることも強みです。しかし本学の FD 活動がより実質化し、学生やステークホルダーに「実感される」ものとなるよう、さらなる全学的な努力を今後も重ねていく必要があることは言うまでもありません。

2. F D委員会関係

令和3年度は計8回委員会を開催した。

実施日及び議題を次頁に掲載する。

令和3年度 FD委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
第1回	R3.4.28 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度の学科FDTeamとFD委員会の関係及び委員会運営について ・ 昨年度FD委員会の取組の確認 ・ 令和3年度のFD委員会の主な取り組みについて
第2回	R3.5.26 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部学科内FDチームからの意見集約 <ul style="list-style-type: none"> ①FD研修会と「学長裁量経費による成果報告会（9/1）」SD研修会の合同開催について ②学生による授業アンケートについて ③授業参観について ・ 令和2年度FD活動・研究報告書について ・ FD委員会で今後協議すべき事項について
第3回	R3.6.23 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部学科内FDチームからの意見集約 <ul style="list-style-type: none"> ①授業評価アンケートの様式について ②「実習系科目・インターンシップ」の授業評価実施方法について ③8月25日（水）のFD研修会の実施方法について ④授業参観について ⑤2月のFD研修会について
第4回	R3.7.28 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部学科内FDチームからの意見集約 <ul style="list-style-type: none"> ①「実習系科目・インターンシップ」の授業評価アンケート実施方法について ②8月25日（水）の第1回FD研修会の実施準備について ③第2回及び第3回FD研修会について ④授業参観について ⑤ルーブリック評価の実施について ⑥教授会での報告について
第5回	R3.12.7 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート項目の見直しについて ・ 令和4年度FD委員会予算について ・ 授業参観の実施状況について ・ ルーブリック評価表の提出状況について ・ 第3回FD研修会の準備状況について
第6回	R3.12.22 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の授業評価アンケート項目について ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> ①授業参観の実施状況について ②ルーブリック評価表の提出状況について ③第3回FD・SD合同研修会のアンケート回収状況について ④後期授業アンケートについて ⑤2021年度FD委員会報告書の準備について

令和3年度 FD委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
第7回	R4.1.26 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の授業評価アンケートの項目について ・授業参観の実施状況について ・ルーブリック評価表の提出状況について ・第3回FD・SD合同研修会について ・後期「授業アンケートによる自己点検評価報告書」について
第8回	R4.2.16 (メールによる オンライン会議) 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の授業評価アンケートの項目について ・授業参観の実施状況について ・ルーブリック評価表の提出状況について ・第3回FD・SD合同研修会について ・自己点検・評価報告書の記載内容について

3. 授業アンケート関係

令和3年度は授業アンケートを実施した。
なお、一部授業（実習系授業等）については、前期・後期ではなく、授業終了に合わせて実施をした。

実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

令和3年7月1日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 林 陽子

「学生による授業アンケート」(前期)の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

2 実施期間

前期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

※回答期間 7月5日(月)~8月6日(金)

3 実施する授業

実習系授業・インターンシップを除く、全ての授業科目(全コマ)で実施してください。

※ゼミナールも同一のアンケートで実施

4 実施方法

・アンケートは、ポータルサイトを利用して実施します。

学生に「ポータルサイトから『授業アンケート』に回答する」ようお伝えください。

・学生にはポータルサイトにて、7月5日にアンケートの依頼と入力手順(別添『学生による授業アンケート』回答手順)を送信します。

5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は教務課で行います。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業に関する自己点検報告書」を提出してください。

問い合わせ先： 教務課

令和3年12月18日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 林 陽子

「学生による授業アンケート」（後期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

2 実施期間

後期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

※回答期間 12月20日（月）～2月6日（日）

3 実施する授業

実習系授業・インターンシップを除く、全ての授業科目（全コマ）で実施してください。

※ゼミナールも同一のアンケートで実施

4 実施方法

- ・アンケートは、ポータルサイトを利用して実施します。
学生に「ポータルサイトから『授業アンケート』に回答する」ようお伝えください。
- ・学生にはポータルサイトにて、12月20日にアンケートの依頼と入力手順（別添『学生による授業アンケート』回答手順）を送信します。

5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は教務課で行います。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業に関する自己点検報告書」を提出してください。

問い合わせ先： 教務課

令和3年度 学生による授業アンケート

<大学:子ども教育学部・短大:現代ビジネス学科>

質問	
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
5	あなたは、この授業に満足しましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
6	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくくなりましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。
	自由記述

令和3年度 学生による授業アンケート

<短大:幼児教育学科第一部・幼児教育学科第三部>

	質問
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
5	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたくくなりましたか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
6	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。 そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
7	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。 自由記述

令和3年度 学生による授業アンケート集計結果

<前期>

全体集計（大学全体）

履修者数 3149名

回答者数 2529名

回答率 80.3%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.59
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.53
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.43
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.45
5	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.51
6	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくなりましたか。	4.49
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.34
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.48

<後期>

全体集計（大学全体）

履修者数 2898名

回答者数 2256名

回答率 77.8%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.54
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.51
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.40
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.40
5	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.45
6	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくなりましたか。	4.46
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.37
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.45

令和3年度 学生による授業アンケート集計結果

<前期>

全体集計（短大・幼児教育学科第一部）

履修者数 4125名

回答者数 3693名

回答率 89.5%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.67
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.53
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.46
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.44
5	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたいになりましたか。	4.41
6	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.39
7	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.48

<後期>

全体集計（短大・幼児教育学科第一部）

履修者数 3523名

回答者数 2726名

回答率 77.3%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.60
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.49
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.48
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.45
5	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたいになりましたか。	4.45
6	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.44
7	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.49

令和3年度 学生による授業アンケート集計結果

<前期>

全体集計（短大・幼児教育学科第三部）

履修者数 2202名

回答者数 1789名

回答率 81.2%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.45
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.25
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.22
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.17
5	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたいになりましたか。	4.15
6	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.10
7	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.22

<後期>

全体集計（短大・幼児教育学科第三部）

履修者数 2358名

回答者数 1854名

回答率 78.6%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.60
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.52
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.42
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.44
5	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたいになりましたか。	4.43
6	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.35
7	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.46

令和3年度 学生による授業アンケート集計結果

<前期>

全体集計（短大・現代ビジネス学科）

履修者数 1019名

回答者数 939名

回答率 92.1%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.38
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.21
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.13
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.11
5	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.15
6	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.06
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.05
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.15

<後期>

全体集計（短大・現代ビジネス学科）

履修者数 711名

回答者数 515名

回答率 72.4%

設問		平均値
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.54
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.45
3	教員は、授業で発言を促し、適切に対応していましたか。	4.30
4	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.32
5	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.35
6	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.27
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.22
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	-
設問全体の平均		4.35

令和3年8月18日

授業担当教員 各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
FD委員会

授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました令和3年度前期授業アンケートの結果をご報告させていただきます（結果参照の手順は別紙をご確認ください）。

つきましては、「授業に関する自己点検報告書」を、9月30日（木）までに教務課へご提出くださいますようお願い申し上げます。

「授業に関する自己点検報告書」の様式は、先生方のアドレスへもメールにて送信しますのでご利用ください。

なお、報告書の様式が変更してありますので、記入例をよくお読みいただきご記入いただきますようお願いいたします。

令和4年3月1日

授業担当教員 各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
FD委員会

授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました令和3年度後期授業アンケートの結果をご報告させていただきます（結果参照の手順は別紙をご確認ください）。

つきましては、「授業に関する自己点検報告書」を、3月31日（木）までに教務課へご提出くださいますようお願い申し上げます。

「授業に関する自己点検報告書」の様式は、先生方のアドレスへもメールにて送信しますのでご利用ください。

なお、報告書の様式が変更してありますので、記入例をよくお読みいただきご記入いただきますようお願いいたします。

※令和3年度を以ってご退職の方は「授業アンケートによる自己点検報告書」の提出の必要はありません。

【授業アンケートによる自己点検報告書】(令和3年度)

所属	子ども 幼教 現ビ 非常勤	教員氏名	
授 業 ア ン ケ ー ト	1. 授業アンケート結果の分析と評価 (担当科目、遠隔授業の回数、担当クラス名を明記)		
	2. 次年度に向けた授業改善の取り組み		
授 業 参 観	3. 「授業参観コメント用紙」の振り返り		

4. F D研修会関係

令和3年度は計3回のF D研修会を開催した。

実施日と主な内容や実施した成果を示す資料を次頁以降に掲載する。

なお、各研修会の参加人数は以下の通りであった。

	実施日	参加者			教員参加率
		教員	職員	合計	
第1回	8月25日	34名	-	34名	91.9%
第2回	9月1日	36名	23名	61名	94.7%
第3回	3月3日	36名	24名	60名	94.7%

令和3年6月30日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位

FD委員会

令和3年度 FD研修会について（ご案内）

平素はFD委員会の活動にご理解を賜り、ありがとうございます。
以下のとおり、FD研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時： 令和3年8月25日（水）
短大所属教員 9：00～10：30、大学所属教員 10：40～12：10
非常勤講師（希望者のみ）9：00～10：30、10：40～12：10のいずれか
- 2 場 所： 2603教室
- 3 内 容： 研修テーマ
「Web Classの活用方法について」 講師 花田経子先生
*実施詳細は裏面参照
- 4 事前学習： 当日までに次の動画を視聴してください。
①動画資料1：2021年3月に実施した教員向け研修会の動画
<https://web.microsoftstream.com/video/23427852-6f2d-4756-848d-dd0fce7a7e84>
②動画資料2：Web Classの操作の方法（学生用教材）
<https://web.microsoftstream.com/video/5121c8ad-5a7f-480d-898-4e75de2d26f7>
- 5 当日持参するもの：
担当予定の任意の後期授業1科目に関して学生に提示する「課題資料」等をUSBに入れてご持参ください（架空資料でも可）。
- 6 参加について： 次の場合は、7月30日（金）までに教務課までご連絡ください（メール可）。
教務課 kyoumu@okazaki.ac.jp

専任教員	指定時間に参加できない場合
非常勤講師	参加を希望する場合は、希望の時間をご連絡ください。 *参加を希望しない場合は、連絡は不要です。 *定員を超えた場合は、ご参加いただけない場合がございますのでご了承ください。

- 7 問い合わせ先： FD委員会

◆研修の主な内容（予定）

具体的な授業の中で利用できるように、PCを用いた研修を行います。当日扱う内容は以下の通りです。

1 授業資料の提供方法

PowerPointのスライドやWordなどで作ったレジュメを学生に配布する方法について操作実習と解説をします。

学生が資料を見やすいように、カテゴリを作る方法についても解説します。

2 レポート提出のための提出場所の作り方

学生にレポート課題を出す方法を2種類（直接書き込んでもらう方法、WordファイルやPowerPointファイルで提出してもらう方法）に分けて操作実習と解説をします。

3 ルーブリック評価の評価表の作り方

ルーブリック評価のために評価表を作る方法について、操作実習と解説をします。

4 作成した授業資料・レポート提出・ルーブリック評価表を他の教科にコピーし編集し直す方法

上記1・2・3で作成したそれぞれのものを、他の教科にコピーする方法について、操作実習と解説をします。

5 提出物の採点の仕方・返却の仕方（実習はなく、解説のみ）

提出されたレポートは教員からはどのように閲覧できるのか、ダウンロードして閲覧する方法はあるのか、レポート内容に採点をして学生に返却をするための方法などについて、実際に講師が操作をしている様子を見せながら解説します。

令和3年6月16日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位

FD委員会
SD委員会
大学総務課

令和3年度FD・SD研修会について（ご案内）

平素はFD委員会・SD委員会・大学総務課の活動にご理解賜り、ありがとうございます。

以下の日程で、令和3年度FD・SD研修会【学長裁量経費による令和2年度「教育改革活動助成」「教育研究支援事業3」成果報告会】を行います。

ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

記

日 時：令和3年9月1日（水）10：40～12：35

場 所：6212 教室

以上

令和 3 年 12 月 15 日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位

F D 委員会
S D 委員会

令和 3 年度 第 3 回 F D ・ S D 合同研修会について（ご案内）

平素は F D 委員会・S D 委員会の活動にご理解を賜り、ありがとうございます。
以下のとおり、F D ・ S D 合同研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加
いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 : 令和 4 年 3 月 3 日（木） 13 : 10 ~ 14 : 40
- 2 場 所 : 6212 教室・ラーニングプラザ
- 3 内 容 : 研修テーマ
「大学における合理的配慮に求められるもの」
講師 桜花学園大学 柏倉秀克教授

以上

5. 授業参観関係

関係資料を次頁以降に掲載する。

令和 3 年 7 月 5 日

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学 専任教員 各位

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学
学長 林 陽子

令和 3 年度 授業参観の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業参観を下記の実施内容のとおり行います。

◆実施目的

授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的とする。

◆実施内容

(1) 参観

他教員の授業を参観する。

	参観回数
専任教員	年間 1 回以上 (必須) ただし、 大学教員歴 3 年未満の短大所属教員は年間 2 回以上 (必須) 大学教員歴 3 年未満の大学所属教員は年間 2 回以上 (推奨)

* 大学教員歴 3 年未満…令和 2 年 4 月以降に本学に着任し、かつ、本学を問わず大学・短期大学の教員としての専任教員経験が 3 年未満の者

(2) 参観可能な授業

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学で実施する対面授業

(3) 授業参観の方法

参観前	○参観する教員 (以下：参観者) は、事前に参観を希望する授業の教員に依頼する (方法は口頭、E メールなど各先生にお任せします)。 ・授業内容 (シラバス) に基づき、参観する日時を調整する。 ・授業担当者は授業内容について知らせ、学生に配布する教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。
参観日	○授業担当者は、授業を受講している学生に、参観の実施について伝達する。 ○参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。
参観後	○参観者は、直ちに「授業参観コメント」を記入後、授業担当者及び教務課に提出する (メール可)。 教務課 kyoumu@okazaki.ac.jp *今年度は授業担当者の「授業参観コメント」用紙への記入欄は廃止しました。代わりに、授業担当者は、後日、「学生による授業アンケート」の自己点検評価とともに「授業に関する自己点検報告書」を提出していただきます。

授業参観コメント

記入日：令和〇年〇月〇日

参観者	所属	子ども 幼教 現ビ 非常勤	氏名	
公開-参観日	月 日 () 限目			
授業科目			授業担当者	

I-1. この授業で印象に残った点について記して下さい。

【参観者記入】

I-2. 授業の「工夫」、「効果」、「課題」などを端的に最大3つ記して下さい。(この3点を網羅する必要はありません)

【参観者記入】

*本用紙記入後、授業担当者と教務課 (kyoumu@kokazaki.ac.jp) に提出をしてください(メール可)。

*今年度は授業担当者の「授業参観コメント」用紙への記入欄は廃止しました。

代わりに、授業担当者は、後日、「学生による授業アンケート」の自己点検評価とともに「授業に関する自己点検報告書」を提出していただきます。

「授業参観」実施結果

	日付	時限		授業科目名	参観者	授業担当者
1	7月7日	2	短大	コンピュータ資格講座	市原潔	村田幸則
2	7月20日	3	大学	障がい児保育Ⅰ	蜂須賀渉	白垣潤
3	7月26日	3	大学	表現技術演習(造形)Ⅱ	岸本美紀	石川博章
4	9月4日	2	短大	教育実習	木田千晶	渡部努
5	10月12日	5	大学	教科教育法(算数)	高塚勲	蜂須賀渉
6	10月27日	4	大学	保育実習指導Ⅰ(施設)	吉村譲	築山高彦・仲田勝美
7	11月3日	1	短大	カリキュラム論	大岩みちの	渡部努
8	11月9日	1	短大	保育実習指導Ⅰ	奥園知明	小原幹代
9	11月16日	1	短大	保育実習指導Ⅰ(保育所)・Ⅱ	小原幹代	奥園知明
10	11月15日	3	大学	コミュニケーション演習	小原幹代	岡本伸子
11	10月21日	1	短大	遊びと運動	春日規克	山下晋
12	11月27日	2	短大	遊びと造形	石川博章	横田典子
13	12月2日	2	短大	教育相談の理論と方法	林陽子	中原竜治
14	11月24日	2	大学	専門ゼミナールⅣ	中村仁志	岸本美紀
15	11月25日	1	大学	専門ゼミナールⅣ	中村仁志	蜂須賀渉
16	12月9日	2	短大	基礎音楽Ⅱ	鈴木仁人	滝沢ほだか
17	12月9日	2	短大	保育内容の指導法(環境)	林陽子	奥園知明
18	12月5日	2	大学	図画工作	白垣潤	石川博章
19	11月1日	2	大学	コミュニケーション演習	赤羽根有里子	岡本伸子
20	5月7日	2	短大	アカデミックリテラシー	本田郁子	丸山笑里佳
21	12月20日	2	短大	乳児保育Ⅱ	林陽子	木田千晶
22	12月21日	2	短大	発達と教育の心理学演習	浅田明日香	中原竜治
23	12月24日	2	短大	簿記検定講座Ⅱ	小宮富子	高塚勲
24	1月5日	1	短大	障害児保育	祝田学	吉村譲
25	12月2日	4	短大	子どもと表現(音楽)	山田悠莉	平尾憲嗣・滝沢ほだか
26	1月4日	2	短大	幼児理解の理論と方法	浅田明日香	丸山笑里佳
27	1月11日	2	短大	保育研究Ⅰ	仲田勝美	本田郁子
28	1月7日	1.2	短大	保育・教職実践演習(幼)	中原竜治	平尾憲嗣
29	1月8日	1	短大	保育内容の指導法(言葉)	中原竜治	野田美樹
30	6月30日	3	短大	子どもと表現	平尾憲嗣	北浦恒人
31	1月11日	2	短大	保育実習指導Ⅰ(保)	木田千晶	奥園知明
32	1月12日	2	短大	教育原理	野田美樹	浅田明日香
33	1月20日	4	大学	総合的な学習の時間・特別活動の学習法	宮腰宏美	山本信幸
34	5月21日	3	大学	体育	山下晋	春日規克
35	1月18日	1	大学	表現技術演習(身体)Ⅱ	滝沢ほだか	山田悠莉
36	1月22日	4	大学	表現技術演習(身体)Ⅱ	水野恭子	山田悠莉
37	1月17日	1	短大	遊びと造形	横田典子	本田郁子
38	12月1日	3	短大	子どもと表現	北浦恒人	平尾憲嗣・藤原一子
39	6月23日 7月7日 7月14日	すべて1	短大	アカデミックリテラシー	丸山笑里佳	本田郁子
40	1月25日	1	短大	保育表現演習	渡部努	西川由美子

6. ルーブリック関係

令和3年度はルーブリックによる授業評価を実施した。

なお、ルーブリック実施状況は以下の通りであった。

実施教員	教員実施率
31名	91.2%

令和3年8月18日
岡崎女子大学・岡崎女子短期大学学長
林 陽子

ルーブリックによる授業評価の実施について

経緯と目的

・単位の実質化に向けて、シラバスにおける自修時間の明記だけでなく、自修における成果について具体的に測る評価方法が求められてきています。また、アクティブラーニングにおける学修についても、明確な評価方法を検討する必要があります。それらの理由から、各授業科目単位におけるルーブリック評価の実施をお願いします。

ルーブリック評価における代表的なメリット

- ・ルーブリック評価では、毎回の授業において評価表の評価軸へ「評価する内容」を定めることにより、授業の目的や到達目標について学生と共有することができる。
- ・教員が求めている到達度が明らかになり、学生の課題や進度における理解について明確に把握することができる。
- ・評価における公平性を示すことができる。

ルーブリック表の作成における留意点

- ・各授業科目において、建学の精神→教育目的→DPの流れを把握し、DPと授業科目における到達目標との関連性を明らかにする。
- ・シラバスにおける授業の到達目標から、「～できるようになる」等の文言を参考にし、評価項目を左の評価軸に設定する。また、各評価項目において関連するDPについても示す。
- ・「全体（15回）」、「授業1回分」、「授業に向けての予習、復習」等、可能な範囲で設定する。

ルーブリック表の作成・報告について

対象者：岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員。ただし、非常勤講師は任意。

- 内容**：1. 上述のように、「全体（15回）」、「授業1回分」、「授業に向けての予習、復習」等、可能な範囲で設定してください。
2. 最低1回分（任意の1科目）の実施をお願いします。
3. 教務課からこの文書をお送りしますのでルーブリック表の作成にご活用ください。

報告：下記①②を教務課（kyoumu@okazaki.ac.jp）までメールでご報告ください。

①実施した日時・時限・科目名

②実施したルーブリック表（メール添付または紙面提出も可）

*既存のリフレクションシートやForms等で同等のものを実施している場合も②として取り扱います。内容がわかるようにご報告ください。

報告期限：令和4年2月末

問い合わせ先

FD委員会

例①全体

	4	3	2	1
音楽を形成する要素について説明することができる (DP II-1)	音楽の3要素について全て説明することができるが、それぞれの要素の関連性についても説明できる	音楽の3要素について全て説明することができるが、それぞれの要素の関連性については説明できない	音楽の3要素のうち2つについて説明することができる	音楽の3要素のうち1つについて説明することができる
音、音楽と心情、情景との関連性について説明することができる (DP II-1)	音、音楽と心情、情景との関連性について、双方の特徴の相違点を挙げて説明することができる	音、音楽と心情、情景との関連性について、片方の特徴を挙げて説明することができる	音、音楽と心情、情景との関連性について、双方の特徴を挙げることはできないが、説明することができる	音、音楽と心情、情景との関連性については理解しているが、説明することができない
創作楽器等を用いた子どもの遊びを創作することができる (DP I-2)	心情、情景（模倣を含む）の2つの要素について、状況による変化を含んだ遊びを創作することができる	心情、情景（模倣を含む）の2つの要素を含んだ遊びを創作することができる	心情、情景（模倣を含む）のうち、1つの要素を含んだ遊びを創作することができる	創作楽器等は用いてはいるものの、心情、情景（模倣を含む）の要素を含まない遊びを創作している

例②授業1回分（2回目）

	4	3	2	1
子どもの歌についてどのように分類することができるが説明することができる (DP II-1)	歌詞の語り手について、誰による言葉なのか3つのパターンを説明することができる	歌詞の語り手について、誰による言葉なのか2つのパターンを説明することができる	歌詞の語り手について、誰による言葉なのか1つのパターンを説明することができる	歌詞の語り手について、誰による言葉なのか説明することができない
リズムの理解について (DP II-1)	5つ以上のリズムパターンを打つことができ、それぞれのリズムと関連した動作を説明することができる	4つ以上のリズムパターンを打つことができ、それぞれのリズムと関連した動作を説明することができる	3つ以上のリズムパターンを打つことができ、それぞれのリズムと関連した動作を説明することができる	2つ以上のリズムパターンを打つことができ、それぞれのリズムと関連した動作を説明することができる

例③予習1回分（2回目授業に向けた）

	4	3	2	1
指定された子どもの歌についての特徴の理解 (DP II-1)	指定されたそれぞれの子どもについて特徴を細かく理解し、自分なりに3つ以上に分類することができる	指定されたそれぞれの子どもについて特徴を理解し、自分なりに2つ以上に分類することができる	指定されたそれぞれの子どもについて特徴を理解してはいるものの分類するまでには至っていない	指定されたそれぞれの子どもについて特徴を理解できていない
普段の生活の中で聞いたり感じたりするリズム（人間の動作等を参考に）の把握 (DP II-1)	10例以上のリズムパターンを挙げ、それぞれの状況を説明することができる	6例以上のリズムパターンを挙げ、それぞれの状況を説明することができる	3例以上のリズムパターンを挙げ、それぞれの状況を説明することができる	1例以上のリズムパターンを挙げ、それぞれの状況を説明することができる

令和3年度FD活動の総括

令和3年度FD委員長 小宮富子

令和3年度FD委員会では前年度委員会の活動方針を概ね踏襲して、①授業評価アンケートの実施方針の検討、②FD研修会の企画、③授業参観の実施方法の確認、④授業改善のためのループリック評価の促進、の4点を主な柱としました。

令和3年度委員会の活動特徴としては、授業改善への努力を促進しつつ、その一方でできる限りFDに伴う学生や教員の作業負担の軽減を図ろうとしたことが挙げられます。授業評価アンケートの見直しや「授業アンケートによる自己点検報告書」の見直しなどもその一例でした。以下、令和3年度に実施した各活動の概要とその成果を簡単に振り返りたいと思います。

学生による授業評価アンケートの結果では、大学全体の平均が5段階評価で前期4.48後期4.45、短大全体の平均が前期4.28後期4.43という高い値を示しており、前年度と同様に授業に対する学生の満足度がかなり高いことが確認されたのは成果であったと思います。またアンケートの実施方法に関しては、学生が回答すべき項目が多すぎないか、教員の提出書類が多すぎないかという視点からの見直しを行いました。重複的なアンケート項目を削減し、学生の回答時間や負担の軽減をめざすと同時に、教員が提出する「授業アンケートによる自己点検報告書」の様式を変更して、提出書類数の削減を図りました。学生のアンケート疲れや教員の負担への配慮を行ったことは、令和3年度委員会活動の一つの成果であったと考えています。

FD研修会については視点の異なる3つの研修会を実施しました。第1回では本学で新たに導入したE-LearningシステムであるWeb Classの活用方法についての研修を行い、専任教員だけでなく非常勤講師の参加も多く、授業に直結するメディア活用法の研修への関心の高さをうかがうことができました。第2回研修会では、「学長裁量経費による教育研究支援事業」の助成を受けた教員（グループ）による成果発表が行われ、教育成果の共有がなされたことを評価する声が多く聞かれました。第3回研修会では前年の企画を継続発展させ、「大学における合理的配慮に求められるもの」をテーマに積極的な意見交換を行うワークショップを行いました。合理的配慮の必要な学生への対応についてはどの学科も判断に迷う事例を経験しており、「合理的配慮への基本姿勢を確認できる有意義な機会になった」という意見が多く寄せられました。また第2回と第3回の研修会がSD委員会との合同で実施されたことも、教職協働の視点から意味のあることであったと考えています。

授業参観については、大学・短大の全専任教員に原則として年1回以上の参観を依頼し（ただし短大幼児教育学科では大学教育歴が3年未満の教員については年2回の実施を依頼）、教員の授業改善への主体的な取組を促しました。「自分の授業実践の参考になった」という報告が多く、授業改善への刺激としての効果の高さを感じられました。授業参観に関する

る改革点としては、それまで授業を公開する側の教員が参観者毎に別々の報告書を書かねばならなかったのに対し、「授業アンケートによる自己点検報告書」の中に授業参観の記述欄を設けて一括記載することで報告書作成の負担軽減を図ったことが挙げられます。

ループリック評価の促進については、令和2年度委員会の取組を継続したのですが、より具体的な実施状況の確認を行う趣旨で、授業で使用しているループリック評価表の提出を各教員にお願いしました。評価方法の透明化や学生への周知化は重要であり、ループリック評価の活用方法については今後も継続的な議論が必要であると思われます。

今後の改善点としては、FD活動に伴う学生や教職員の過剰負担を減らす配慮は必要ですが、その一方で、授業改善に積極的に取り組むことは教員の社会的責務であり、教育改善の取組を大学内で共有することの重要性についても再確認していく必要があるという点です。ごくわずかではありますが、「授業アンケートによる自己点検報告書」などが未提出の教員がいたことは残念であり、本学FD活動の反省点でもあることをここに記しておきたいと思います。